

100年の歴史をご紹介します 川崎水道の歴史



- 大正10年 多摩川を水源として給水開始（川崎町）
- 大正13年 川崎市誕生（川崎町、大師町、御幸村）
- 昭和2年 田島町を編入
- 昭和8年 中原町を編入
- 昭和12年 高津町、日吉村、橋村を編入
日本初の公営工業用水道 給水開始
- 昭和13年 稲田町、向丘村、宮前村、生田村を編入
- 昭和14年 柿生村、岡上村を編入
- 昭和29年 新たに相模川から取水開始



戸手浄水場

最初の浄水場

大正初期にかけて、旧川崎町では井戸を掘っても飲み水はほとんど得られない状態でした。住民の多くは二ヶ領用水などの水を売りに来る「水屋」に頼らざるを得ませんでした。

また、この先川崎を支えていく工場の誘致にも水道の創設は絶対条件でした。

そこで、当時の町長石井泰助が先頭に立ち、水道創設を押し進めました。

川崎最初の浄水場は、幸区戸手に建設され、多摩川を水源として浄水処理を行っていました。現在は廃止され、戸手浄水場の跡地は幸区役所となっています。



相模ダム



完成当時の長沢浄水場

市域の拡大と相模川からの取水

相次ぐ町村合併で市域が拡大すると、水需要がさらに高まり、これに対応するため多摩川からの取水を増量しました。しかし、これ以上多摩川から取水することが難しくなったため、相模川から取水することにしました。神奈川県などと共同で開発した相模ダムから取水した水は、多摩区三田に長沢浄水場を建設し、浄水処理を行いました。

取水地点である相模湖からは、延長20kmを超える大型の水道管（導水ずい道）で水を導きました。

導水ずい道の工事は、太平洋戦争や軟弱地盤、大量湧水のために苦難の連続でした。

ちなみにこの相模川は、もとを辿ると山中湖、そして富士山の雪解け水からなっています。

- 昭和49年 新たに酒匂川から取水開始



三保ダムの建設予定地



完成した三保ダム

高まり続ける水需要

高度経済成長により工場等が増加、それに伴って人口も激増します。昭和46年には相模ダムの下流に城山ダムを建設し、取水できる量を増やしましたが、好景気による水需要の高まりはそれを上回り、相模川からの取水も限界を迎えました。そこで水源を酒匂川に求めました。神奈川県などと共同で設立した神奈川県内広域水道企業団が三保ダムを建設し、取水した水は企業団が浄水処理を行い、川崎市ほか県内各都市へ配水しました。

令和3年 給水開始から100年

- 令和6年 川崎市制100周年
- 令和13年 下水道事業100周年



宮ヶ瀬ダム

宮ヶ瀬ダム

宮ヶ瀬ダムは、平成13年に、当時の建設省により完成しました。

ダムの水は相模川の下流、相模大堰から神奈川県内広域水道企業団が取水し、浄水処理した水を、神奈川県内各所に供給しています。

相模ダム、城山ダム、宮ヶ瀬ダムを導水路で繋ぐことで川の水を融通しあうことができるようになり、バックアップ体制が確立され、より一層渇水に強くなりました。



現在の長沢浄水場

現在の川崎水道

かつては爆発的な人口増加に比例して右肩上がりであり上昇していた水需要ですが、節水意識の高まりや産業構造の変化により、予想に反して横ばいで推移するようになりました。

そこで川崎市では、全国に先駆けて浄水場の統廃合により施設能力を適正規模にするとともに、老朽化対策、地震対策を一度に図る再構築事業を実施しました。

現在では、多摩川からの取水は停止し、相模川・酒匂川からの水が私たち川崎市民の飲み水となっています。



100周年記念見学会 ～水とかがやく未来館～

- 【日程】** 第1回：令和3年8月12日(木) 第2回：令和3年8月19日(木)
- 【時間】** 午前の部（小学生向け）：9時30分集合 11時30分解散
午後の部（一般向け）：13時30分集合 16時00分解散
- 【見学場所】** 水とかがやく未来館（長沢浄水場内）※長沢浄水場内の見学は行いません。現地集合・現地解散です。ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
- 【参加料】** 無料
- 【参加資格】** 午前の部：川崎市内在住の小学生（3年生以上）※要保護者同伴
午後の部：川崎市内在住の方（一般向け）
各回定員21名 ※申込者多数の場合抽選
- 【申込方法】** はがきまたはメールフォームに、①イベント名（第〇回記念見学会、午前または午後のどちらかを記載）、②参加者全員の氏名（小・中学生の場合は学年も）③郵便番号及び住所④電話番号を記入してお申し込みください。
- 【申込期限】** 令和3年7月1日（木）必着
抽選結果は当落に関わらず7月中に発送します。



メールフォーム

100周年記念 水源地ツアー

- 【日程】** 第1回：令和3年8月13日(金) 第2回：令和3年8月18日(水)
- 【時間】** 7時30分出発 17時20分解散（予定）
- 【集合場所】** 第1回：麻生区役所 ※バスで出発します
第2回：中原区役所
- 【目的地】** 山中湖（忍野八海）・宮ヶ瀬ダム
- 【参加料】** 無料（昼食・水族館の入館料等は自己負担となります。）
- 【参加資格】** 川崎市内在住の小学生（3年生以上）1人までとその保護者
各回1組2人まで 定員20名 ※申込者多数の場合抽選
- 【申込方法】** はがきまたはメールフォームに、①イベント名（第〇回水源地ツアー）、②参加者全員の氏名③学年④郵便番号及び住所⑤電話番号を記入してお申し込みください。
- 【申込期限】** 令和3年7月1日（木）必着
抽選結果は当落に関わらず7月中に発送いたします。



メールフォーム

【あて先】〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 ※新型コロナウイルス感染症の状況などを踏まえ、中止とする場合があります。
川崎市上下水道局 サービス推進課 サービス推進課 ☎044-200-3149 044-200-3996